

道内の感染状況等について

【令和3年1月14日】

区 分	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者 用病床	療養者数	検査 陽性率	新規 感染者数	先週1週間と の比較	感染経路 不明割合
全道(1/13)	687床	12床	増加 1,524人	増加 6.6%	1,134人/週	増加	31.8%
うち札幌市	314床	7床	808人	7.4%	616人/週	増加	36.5%
ステージ4基準	350床	35床	796人	10%	796人/週	増加	50%
ステージ3基準	250床	25床	増加	増加	133人/週	増加	50%

本道は、新規感染者数が増加傾向にあり、感染の再拡大の兆しがうかがえるなど、予断を許さない状況が続いている。

また、医療提供体制は、依然として厳しい状況を脱しておらず、仮にこのまま感染者の増加が続いた場合には、医療崩壊といった危機的な事態に至ることも懸念される。

全国的な感染拡大の中、道内の再拡大が懸念されることを踏まえ、集中対策期間を1か月延長し、全道の対策を進めるとともに、特に、感染者数や入院患者が高い水準にある札幌市における強い措置を講ずることが必要。

一段の感染拡大など、今後の状況によっては更に強い措置を講ずる。

なお、札幌市における対策の緩和については感染状況に応じて段階的に行うが、必要な対策については、道の警戒ステージ3相当以下に下がるまで続ける。

最近の感染状況等について

【感染状況】

11月下旬をピークとした新規感染者数は、この間の対策への道民、事業者の皆様のご協力により、減少を続けてきた。しかしながら、その傾向は全国的な感染拡大や年末年始の会食機会の増加を背景に1月8日から増加に転じている。さらに30歳代以下の若年層の割合が増加傾向にあるほか、感染経路不明の割合が上昇しているなど、感染の再拡大の兆しがうかがえる。こうした状況に関しては、国において「経路不明の感染の原因の多くは飲食が原因」であるとの指摘や、「飲食する場面が主な感染拡大の要因となり、これが、職場や家庭、院内・施設内の感染に繋がっているものと考えられる」との見解が示されている。

地域別には、札幌市内では、新規感染者数が高い水準で下げ止まっており、特に感染経路不明の割合や陽性率が大きく上昇しているなど、予断を許さない状況。また、他の地域でも多くの振興局で感染者が確認されているほか、医療施設・福祉施設に加え、飲食店や学校での集団感染が発生している。

また、この間、首都圏等に緊急事態宣言が発出されるなど、全国的に感染が急速に拡大しており、国内でのまん延を背景に、道内の感染状況は再度の急増も懸念される。

【医療提供体制】

この間の新規感染者数の減少を通じ、入院患者数は一時期より減少しているものの、依然として厳しい状況を脱していない。仮にこのまま感染者の増加が続いた場合には、医療崩壊といった危機的な事態に至ることも懸念される。

特に本道は、昨年、全国的な支援を受ける中で医療提供体制の確保を図ってきたところであり、現在、全国的に医療提供体制が厳しさを増している中で、道内におけるひっ迫を招くことを回避する必要がある。

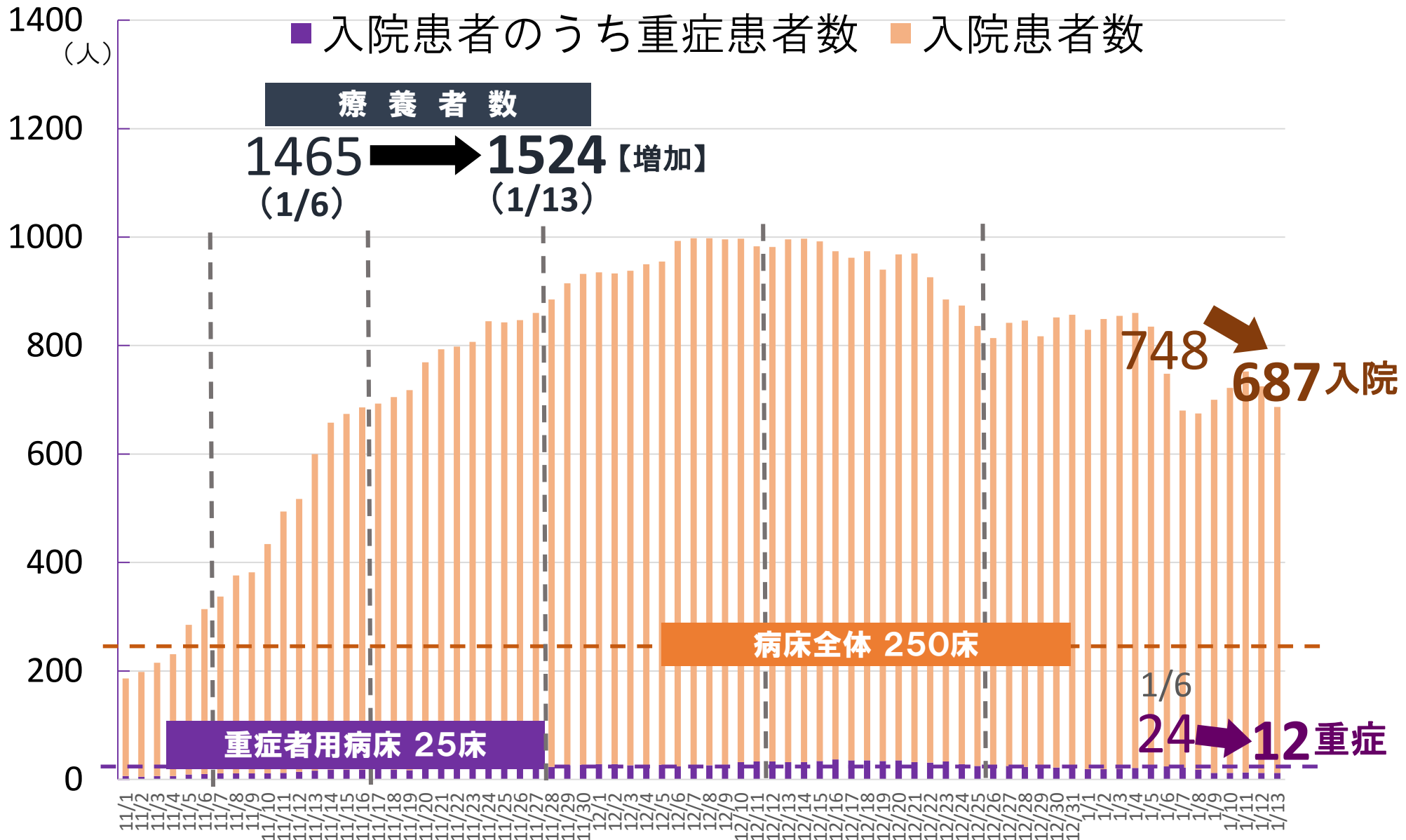
【必要な対策】

以上のことから、全国的な感染拡大の中で、感染者の急増と医療への負荷の増加が懸念されることを踏まえ、感染者数や入院患者が高い水準にある札幌市における強い措置を講ずることが必要。

また、一段の感染拡大など、今後の状況によっては更に強い措置を講ずる。

なお、札幌市における対策の緩和については感染状況に応じて段階的に行うが、必要な対策については、道の警戒ステージ3相当以下に下がるまで続ける。

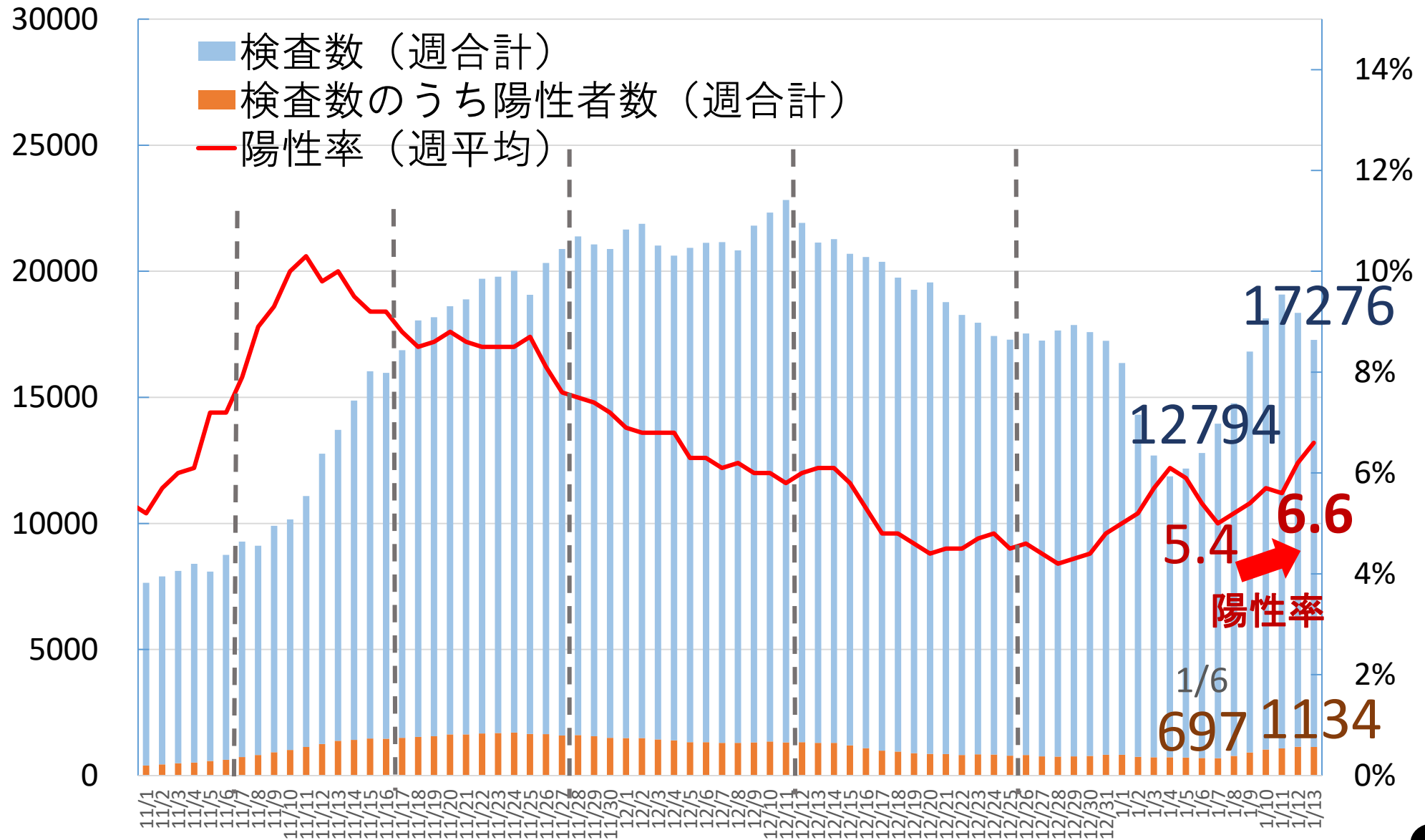
医療提供体制等の負荷(指標①)



監視体制(指標②)

検査数 (人)

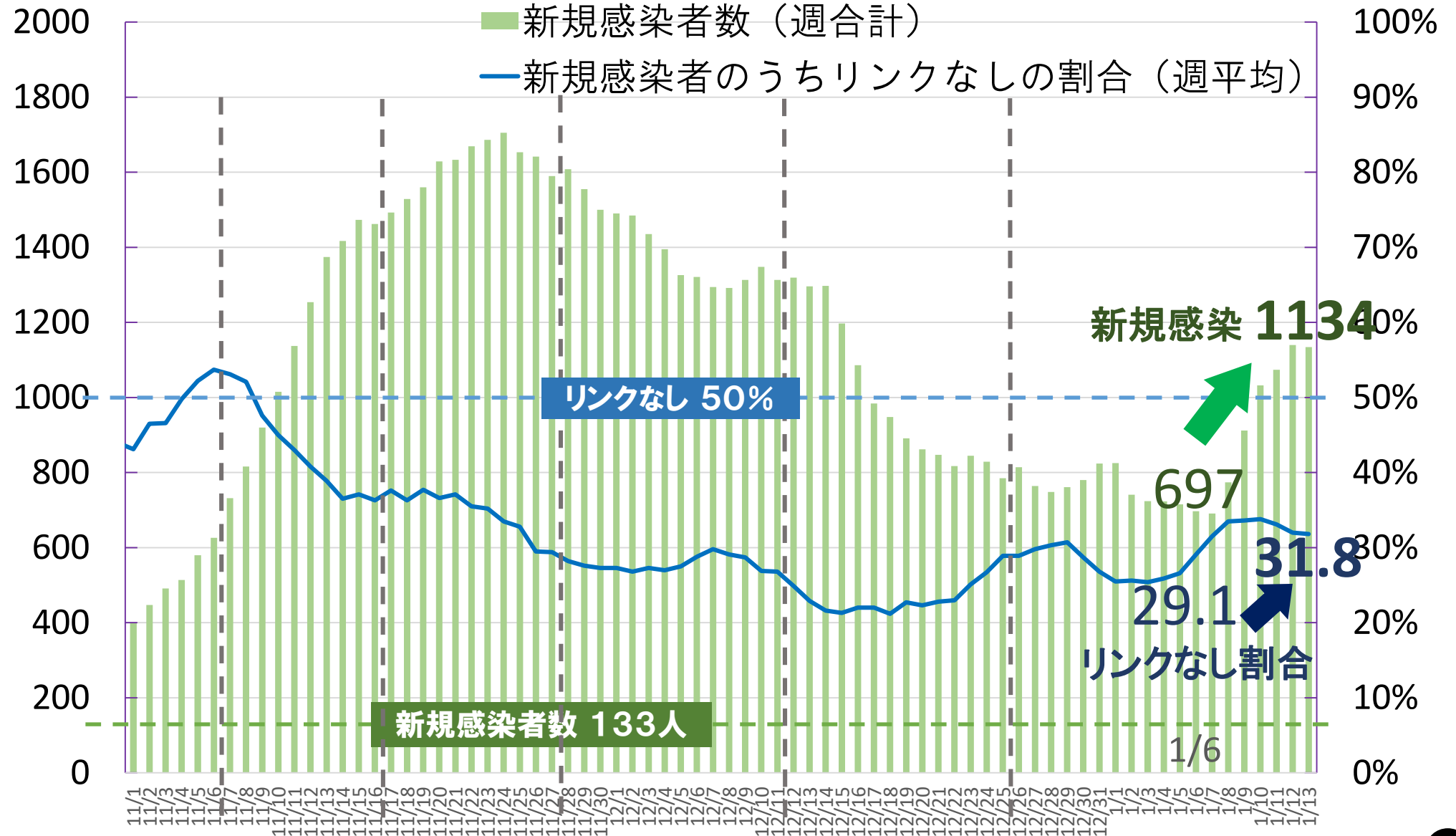
陽性率



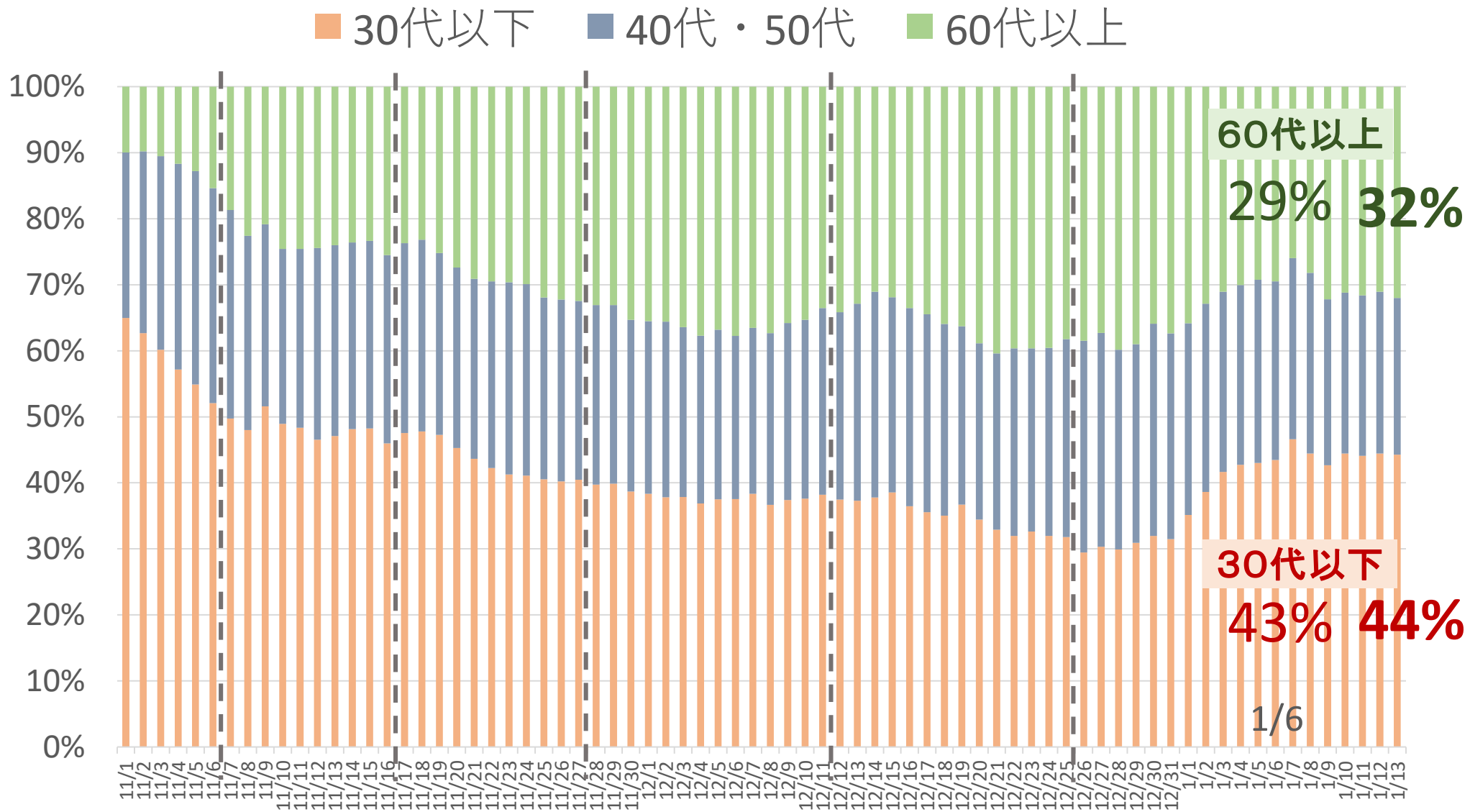
感染状況(指標③)

新規感染数(人)

リンクなしの割合

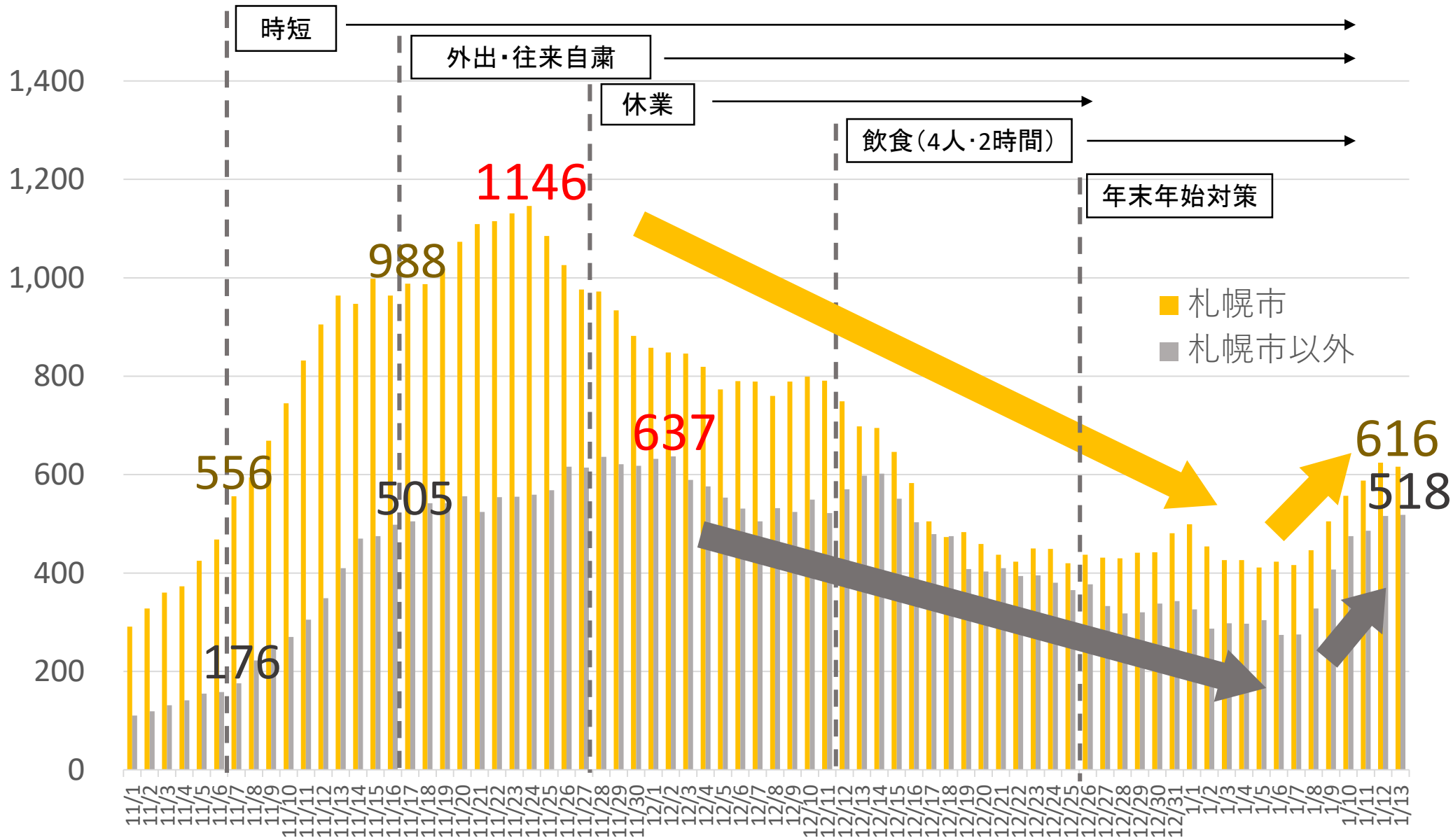


新規感染者の年代別割合(全道)



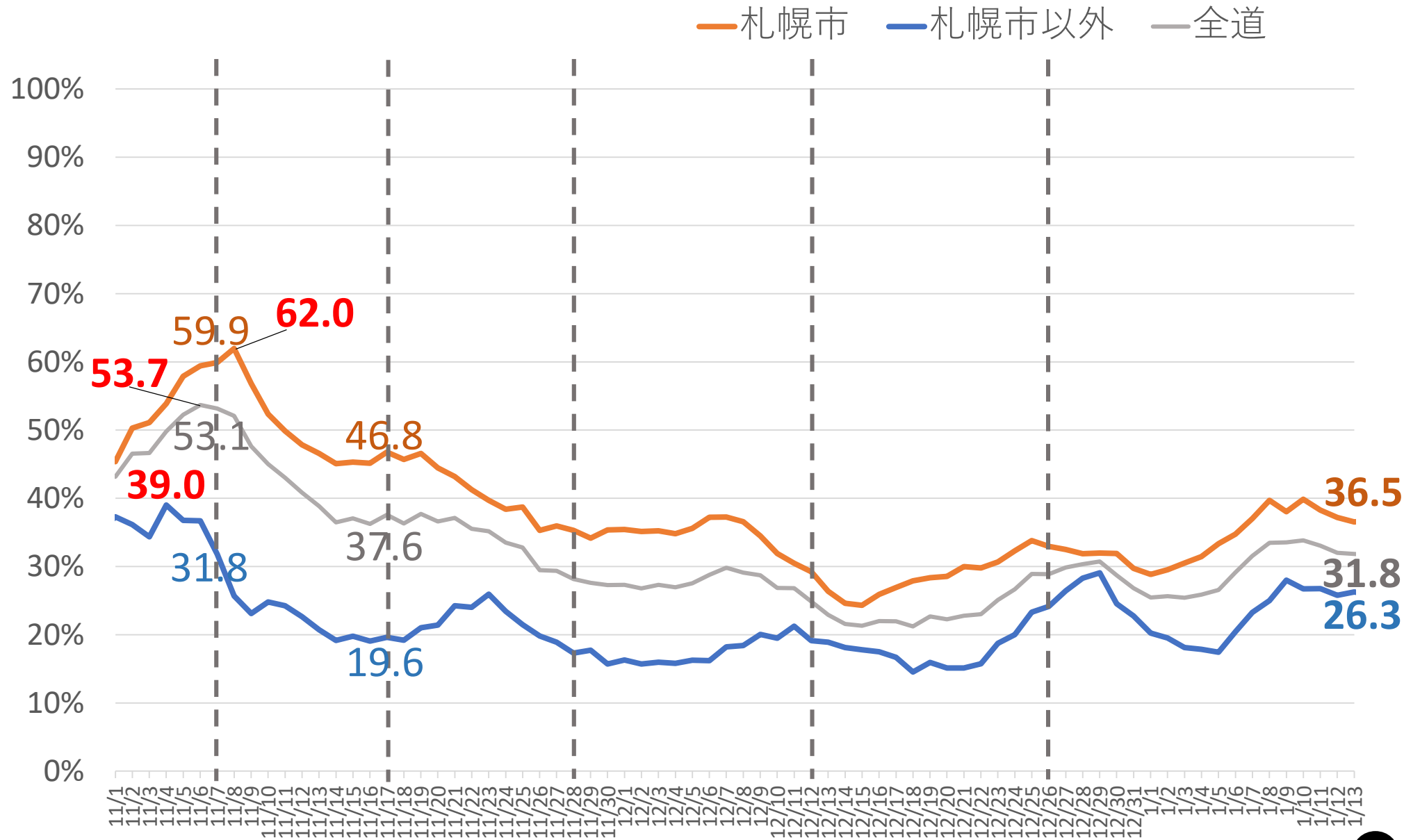
(新規感染者のうち年齢公表分を7日間平均で集計)

地域別新規感染者数(札幌市／札幌市以外)

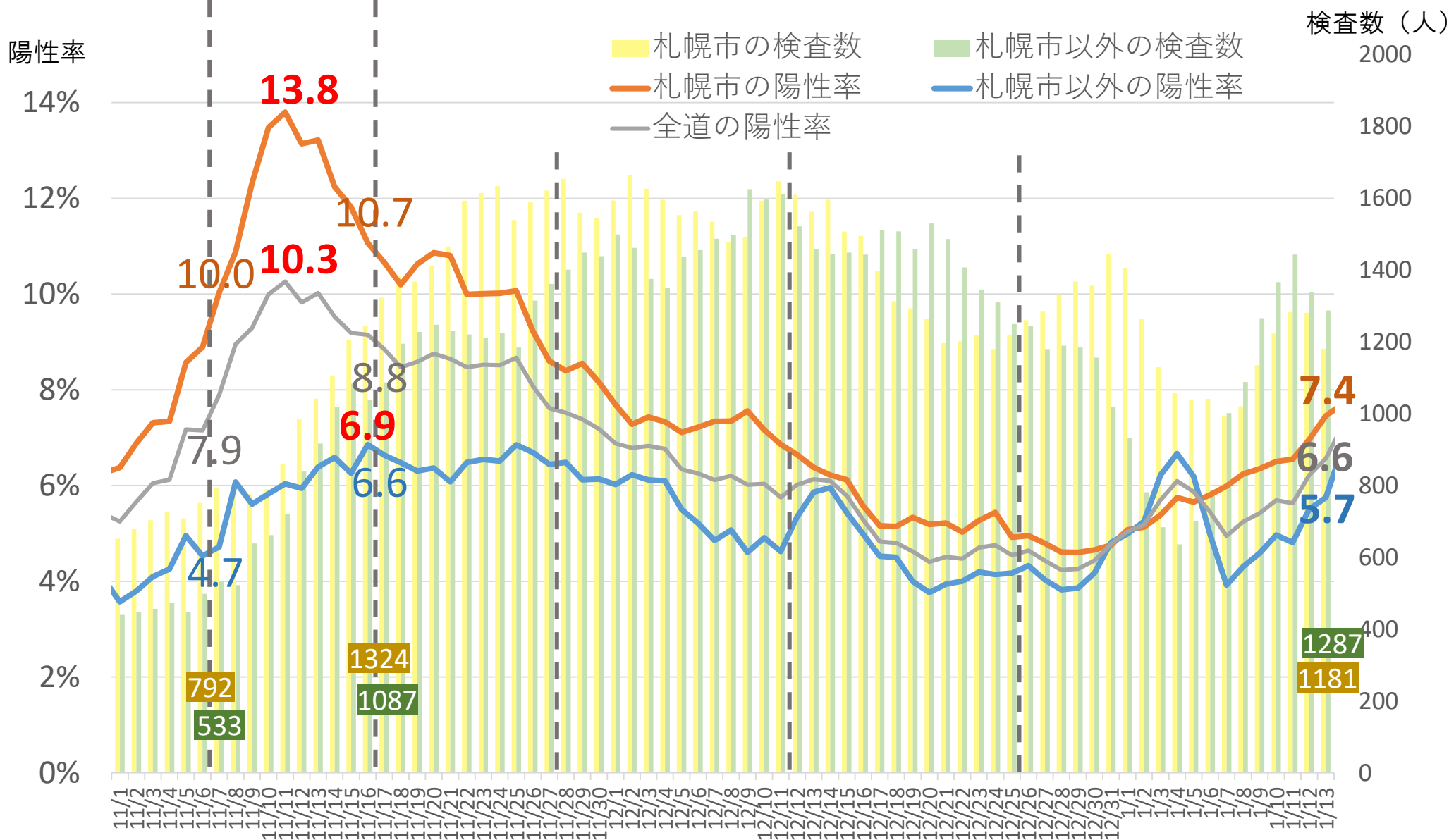


(7日間合計で集計。「札幌市」には、札幌市が居住地非公表として発表した者及び札幌市以外が札幌市居住として発表した者を含む。)

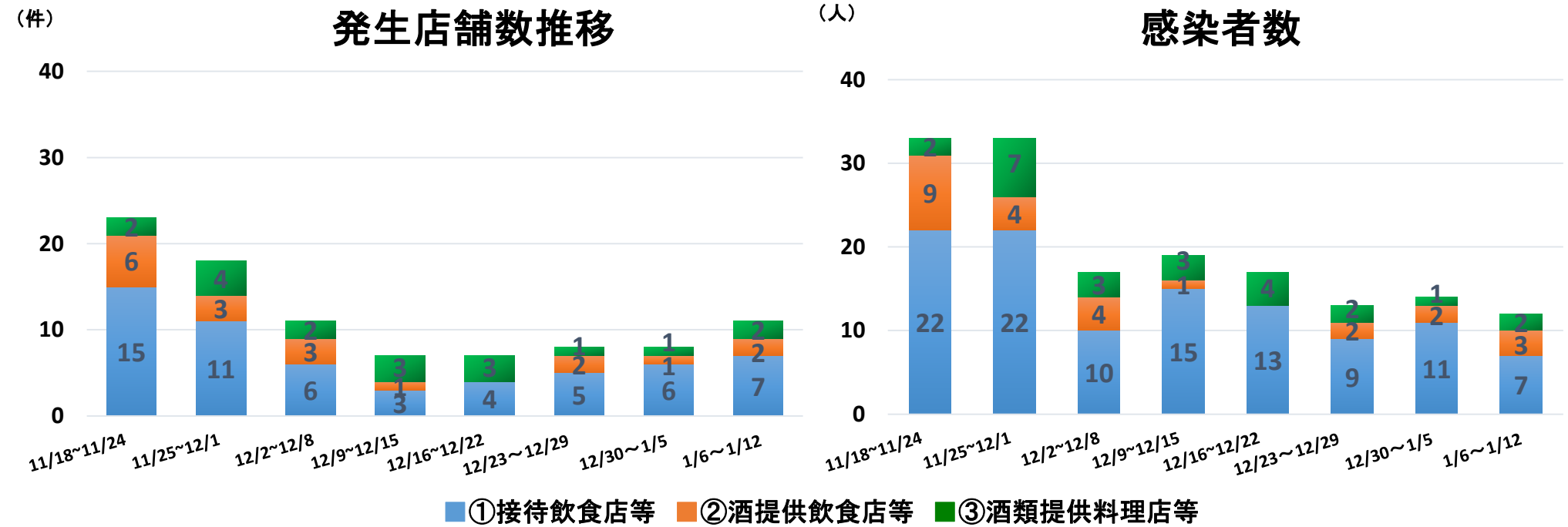
地域別リンクなし割合(札幌市／札幌市以外)



地域別検査数・陽性率(札幌市／札幌市以外)



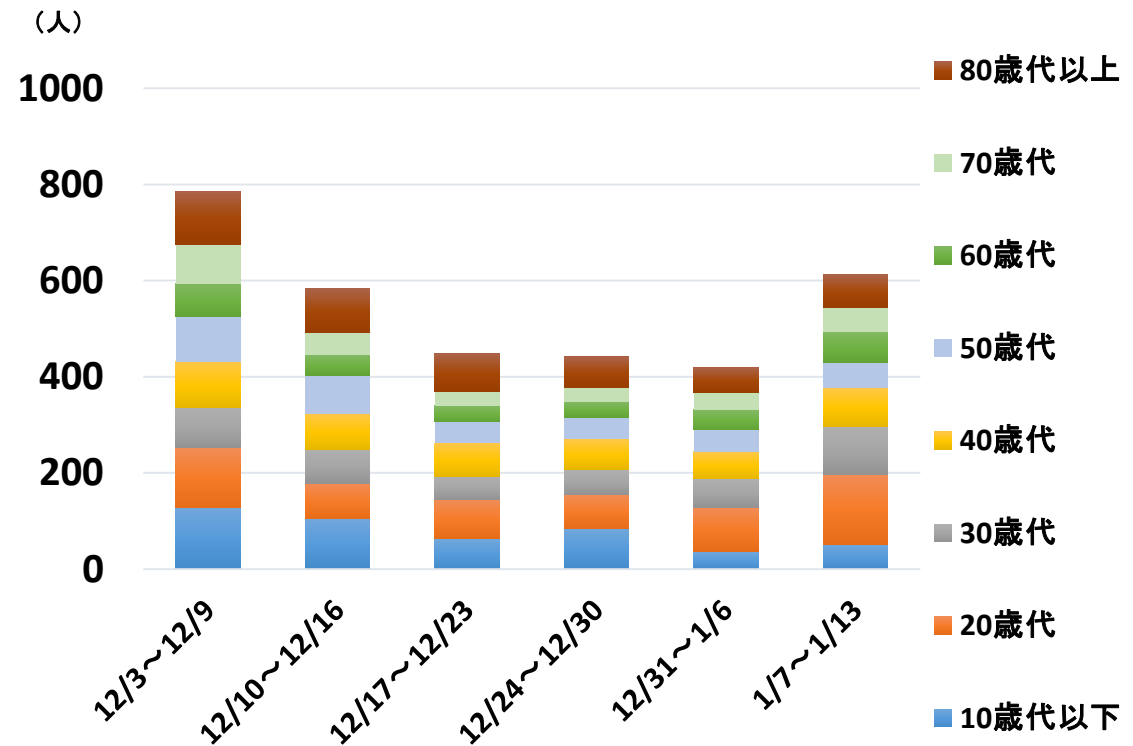
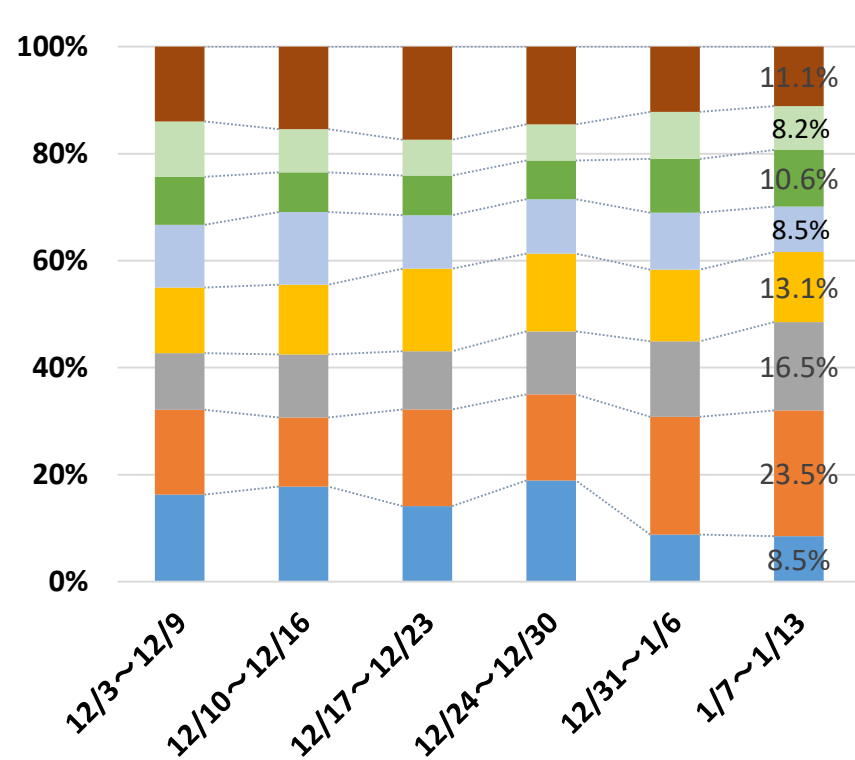
時短要請等による感染状況の推移(札幌市)



※ ①ニュークラブ、ホストクラブ等 ②バー、ナイトクラブ等 ③居酒屋、ラーメン店、そば屋等

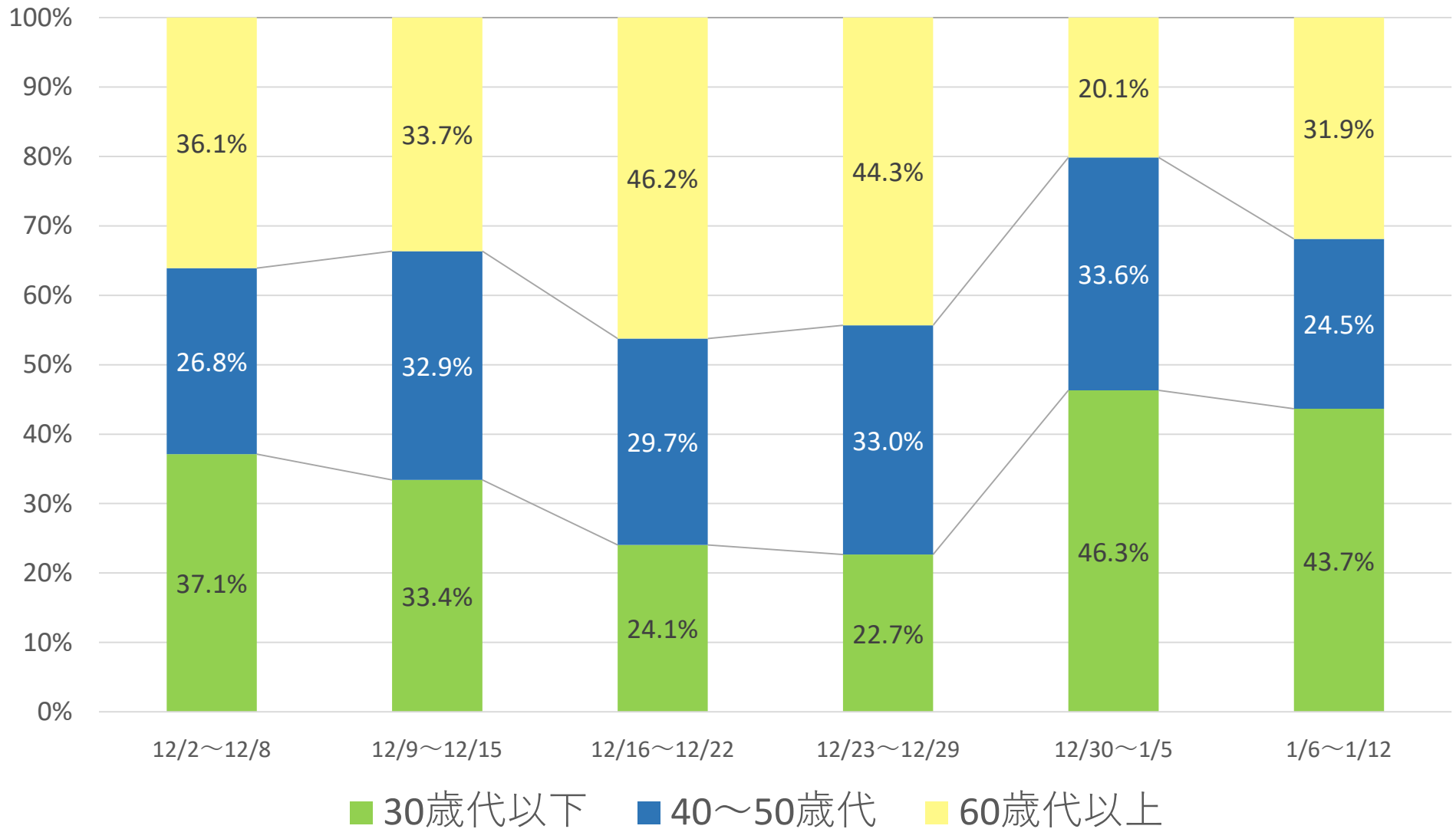
➤ 12月下旬以降、発生店舗数及び感染者数は横ばいで推移。一定数の感染者の発生が続いていることから、増加に転じることを防がなければならない

年代別割合(札幌市)



➤ 12月下旬から、40代以下の若い世代に感染の広がりが見られる状況

年代別割合(札幌市以外)



集団感染の発生状況

(1/12現在)

	札幌市		札幌市以外		合計	
	12/8～ 12/25 (18日間)	12/26～ 1/12 (18日間)	12/8～ 12/25 (18日間)	12/26～ 1/12 (18日間)	12/8～ 12/25 (18日間)	12/26～ 1/12 (18日間)
医療施設 福祉施設	15件 (399人)	9件 (231人)	11件 (405人)	6件 (156人)	26件 (804人)	15件 (387人)
飲食店等 (※)	2件 (30人)	1件 (6人)	3件 (15人)	5件 (84人)	5件 (45人)	6件 (90人)
事業所等	2件 (32人)	2件 (74人)	1件 (15人)	1件 (6人)	3件 (47人)	3件 (80人)
学校	3件 (107人)	0件 (0人)	3件 (40人)	2件 (36人)	6件 (147人)	2件 (36人)
合 計	22件 (568人)	12件 (311人)	18件 (475人)	14件 (282人)	40件 (1043人)	26件 (593人)

※接待を伴うものを含む